

答 歴代の教育長は校長経験者の男性であり、給与は年金とのバランスで給料額を決めてきた経緯がある。しかしながら休日、夜の会議など公務の頻度に比較して少額な給料額であることを踏まえ検討していきたい。

問 介護保険制度が改正され2017年度に向けて要支援1と2は市町村の総合事業と切り替わり、訪問介護や通所サービスは廃止され自己負担となるが、先進地事例の自治体はあるのか。

答 池田町で要支援1と2の対象者は60名ほどであり、対象者は介護保険の給付型から地域支援事業の予防事業に替わることになる。しかし訪問介護などは地域で支えていくことになりサービスの低下に繋がるので、揖斐広域連合管内の3町で調整していく。

問 中高生を対象とした海外派遣事業の選考基準と参加者数は。

答 中高一貫教育および福祉と英語教育の推進を目的とし

て、平成27年度からニュージーランドへの海外派遣事業を実施する。参加者の募集は夏休み前に行い、中学生10名と池田高校生5名の応募があった。選考基準の一つとして海外派遣までに福祉施設のボランティア活動や福祉関連のイベント参加で100時間の事前研修を必須としているが、来年度以降は応募前にこの研修時間を果たしていることも基準の一つとして検討していきたい。



みの池田ふるさと祭でボランティア活動する海外派遣生徒

地方創生特別委員会

問 合計特殊出生率を1.8(人)

とする目標達成のための総合戦略では、全ての事業を

達成できるのか。

答 当然不安はあるが目指していきたいと考え、総合戦略は事業推進しながら毎年見直しも必要であると考えている。あまりにも高い目標となれば軌道修正をして、さらにアイデア工房や池女会での素晴らしいアイデアや提案があるので、一つ一つクリアして少しでも1.8(人)に近づけていきたい。

問 資格取得に対する助成の対象者および実施方法と来年度以降も継続して助成するのか。

答 キャリア教育の推進のために外部検定試験の経費を負担していく。検定項目は英語検定、漢字検定などで、1月24日に実施される3級の英語検定は、高校生と中学生から希望者を募り、検定料金2,800円のうち1,800円を助成。2月5日の漢字検定は、中学2年生の全生徒を対象に授業時間を利用して実施する予定である。検定料金2,500円のうち1,500円を助成する。この事業は総合

戦略の5年間は実施要項を定めて予算の範囲内で継続していく。

問 3年後の2019年が最終目標で町の観光消費額を一人当たり3,700円とされているが具体策はあるのか。

答 池田町には池田温泉と道の駅を核とする観光基地がある。この場所でお客様に買って頂ける特産品の開発や観光基地を生かしながら観光ツアーを企画して、昼食料金、見学料などをパッケージ化して、お一人様2,000円、3,000円というプログラムの企画案も検討している。

養老鉄道存続特別委員会

問 「継続審議」となっていた養老鉄道活性化協議会等の経過報告については、10月に養老鉄道沿線市町議長会議があり、沿線市町の各議会などで情報量や資料提供について大きな差があると報告があった。今後は活性化協議会と議長会とは情報共有

を助成する。この事業は総合

を図っていくと言われたが。

答 今回は岐阜県が主導権をとり慎重姿勢を示しており、今後、近鉄側と重要な交渉段階に入る時期である。池田町では委員会協議会などで情報提供しており、幹事会等へは首長と議会は情報共有すべきと強く申し入れていく。

※ 養老鉄道活性化協議会幹事会等について、8月31日以降の経緯と協議内容および近畿日本鉄道の代表取締役社長との面談内容の説明がある。今後の協議にあたっては、県をはじめ国土交通省や中部運輸局との情報共有を図りつつ、国からの助言を仰ぎながら進めていくとの経過説明があった。



乗って残そう養老鉄道!